

## Product Data

# 土木・建築用 1 成分形シリコーンシーリング材 (オキシム型、低モジュラス)

## トスシール 817

トスシール817は、土木・建築用のオキシム1成分形シリコーンシーリング材です。流動性があり、モジュラスが低く伸びが大きいのが特長です。モルタル、コンクリートへの接着性に優れていますので、土木用途のシーリングに適しています。

### 特 長

- 低モジュラスです。
- 1成分形で施工が容易です。
- 目地の動きによく追従します。
- 耐候性、耐オゾン性に優れています。
- 温度によって特性がほとんど変化しません。
- 低温でも作業性が低下しません。
- セメント系部材によく接着します。
- 流動性があります。

### 用 途

- コンクリート構造物の水平ジョイントのシール  
鉄道、高速道路、滑走路
- 建物の床、駐車場の水平目地のシール

### 特性例

#### 硬化前

(JIS A 1439)

項 目	特性値
外観	灰色、ペースト状
密度 g/cm <sup>3</sup> (23°C)	1.17
指触乾燥時間 (23°C) h	1.5
粘度 Pa·s	80

#### 硬化後\*1(養生後)

(JIS A 1439)

項 目	特性値
被着体	モルタル*2
50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	0.08
最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	0.45

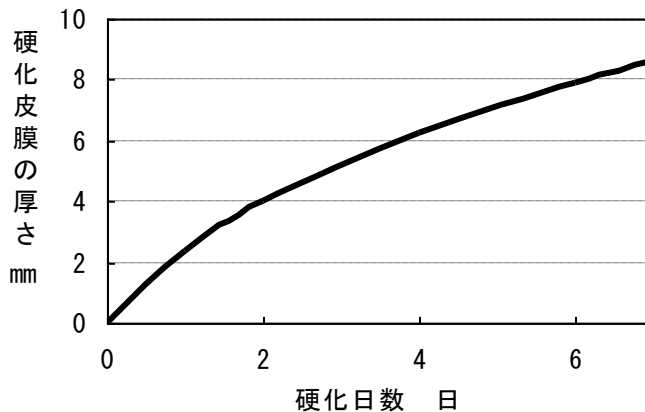
最大荷重時の伸び	%	600
破断時の伸び	%	600
硬さ <sup>*3</sup>		22

\*1 硬化条件：23℃、50%RH、14日間 + 30℃、14日間

\*2 プライマー：トスプライムC

\*3 アスカーC、硬化条件：23℃、50%RH、7日間

### 硬化性 (硬化条件：23℃、50%RH)



### プライマー

接着を確実にするため、プライマーの使用を推奨します。

被着体	プライマー
コンクリート、タイル、モルタル	トスプライムC
ガラス、金属、塗装面	トスプライムD

注：事前に実際の部材で接着性を確認してから施工してください。

### 使用方法

- 施工部の汚れはアルコール、アセトン、トルエンなどで清浄にし、よく乾燥させてください。
- ぬれた状態での施工は避けてください。はく離の原因となります。
- 特殊な部材についてはご相談ください。
- 施工中、周辺の汚れを防止し、仕上がりをきれいにするためマスキングテープの使用をおすすめします。

### 使用上の注意

- 硬化後のシーリング材は不燃性ではありません。
- 未硬化のものは刺激性がありますので、目や口に入れないよう、また皮膚に長く付着したままにしないよう、ご注意ください。

- 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- 換気のよい所でご使用してください。
- 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 一部の合成ゴム(EPT、クロロプレン等)と接触するとシーリング材が変色することがありますので、ご注意ください。
- 硬化時に密閉状態になるような条件では、銅腐食が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 外壁目地などに使用すると目地周辺が汚れることがありますのでご注意ください。
- 塗料は、のらないので注意してください。

## 保 管

- 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

## 消防法

危険物第4類第3石油類に該当

## 荷姿・梱包

20kgペール缶

220kgドラム

発行：2008年3月/改訂③2023年1月

---

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

・安全性に関する詳細な情報につきましては、安全データシート(SDS)をご参照ください。

・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。

・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。

---



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<https://www.momentive.com/ja-jp>

営業推進室  
東京本社(営業)  
大阪支店  
名古屋支店

TEL.03-5544-3111  
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122  
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-6252-8255  
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750